

立教大学学術推進特別重点資金(立教SFR)

在外研究

2014年度研究成果報告書

研究代表者	所属部局・職		氏名	
	異文化コミュニケーション学部・教授		李香鎮 印	
研究テーマ	アメリカにおける北朝鮮：後期冷戦体制下のグローバル映像政治学			
全研修期間	2014年8月4日～2015年9月16日			
経費	年度経費	SFR申請額	所属学部からの補助額	SFR助成額
	2013年度	円	円	円
	2014年度	2,609,882円	750,000円	1,859,882円
主な滞在国及び研究機関名	国名	研究機関名		
	米国	ハーバード大学韓国研究所		

研究成果の概要 (図・グラフは使用しないこと)

研究の目的と概要

ハリウッドにおける北朝鮮と北朝鮮の映画に現れたアメリカのイメージを比較・分析し、自国や相手国、関連国家に広がっているグローバル・イメージとアイデンティティの再現における大衆文化の意味を考察する。ハリウッドによって拡大される、共同の敵としての北朝鮮のイメージは、北朝鮮が起こした継続的な軍事的挑発や国際的葛藤に相乗効果を得ており、北朝鮮という国家だけではなく、北朝鮮住民や韓国人たち、在日、朝鮮族、アメリカなどのコリアン・ディアスポラのアイデンティティまでも、映画が切り取っている人種的ステレオタイプによって固着させる可能性がある。本研究は、このようにグローバル化によって急速に進む北朝鮮の文化的排斥、加えてコミュニケーション技術の発展と共に西欧の資本主義大衆文化が流入することで変化する住民たちのアイデンティティを多文化主義、またはマルチエスニック社会に向かうトランスナショナルの観点で模索する。

研究成果

1) 4、50年代の映像関連資料収集結果

8月4日から20日までのソウルの滞在研修期間中は北韓大学院と韓国映像院で、8月以後はハーバード大学で、米軍政期(1945-48)と朝鮮戦争(1950-53)中に米公報院によって制作された反共映画に関する資料を閲覧と収集。日本植民地時代から解放後の米軍政期まで続いた反共主義は、占領国の支配理念として朝鮮半島の住民たちの生活を徹底的に統制する手段であった。初期韓国の戦争映画やスパイ映画はこのような米軍政期の統治イデオロギーの大衆教育のため制作されて、日本植民地時代と似ている政治的扇動性を持つ。

韓国で初めて作られた反共映画は1949年米軍政の公報院の製作または支援である<城壁を突破して>と<戦友>である。この二つの作品はまだ発見されていない。

研究成果の概要 (つづき)

当時の記録と残っている映像資料を見るとほとんどが反共映画で、戦争映画、スパイ・諜報物などの劇映画やドキュメンタリー映画が主な作品である。政治的側面から見ると解放直後の朝鮮半島の住民たちは共産主義も反共主義も知らぬ西欧のイデオロギーとして受けていたが、外勢によって南北分断が政治的対立から日常生活の暴力的現実になって戦争にまで拡大し、結局は最も恐ろしいテラーの言葉になることを経験した。

2) 60年代の映像関連資料収集結果

朝鮮戦争前、50年代前半までの韓国反共映画は朝鮮半島のアイロニカルな政治的現実を反映する。当時の韓国反共映画における北朝鮮や共産主義者のイメージも直接的な体験なく、ハリウwoodsの反共映画の再現公式を踏襲する傾向も見られる。しかし、戦争後の韓国とアメリカの戦争映画における北朝鮮や共産主義者のイメージは差別性をはっきり見せる。韓国の場合は共産主義者、また北朝鮮が惨憺して抑圧的な分断の原因として繰り返し登場する。60年代は、反共映画が韓国映画の主なジャンルになる。反対にアメリカでは、反共映画が戦争と共に短期的な人気を極めたが、60年代からは大衆の記憶の中に徐々に消える。その後、娯楽映画として戦争、スパイ・諜報映画で人気を得たが、冷戦体制の終息とともにアクション映画やアニメなどのジャンルで北朝鮮のイメージが新たに表れている。

3) 現代アメリカのメディアに現れる北朝鮮のイメージ

研究機関のハーバード大学に所蔵されている米朝関係と文化交流をめぐる理論的文献とメディア報道資料を整理し、ワシントン・ナショナル・アーカイブとニューヨーク大学、ジョージア大学、カリフォルニア大学ロサンゼルス校 南カリフォルニア大学など、重要な大学図書館及び歴史資料館で関連資料を収集。そして、該当大学の韓国近代史専攻の歴史学者と映画学者、及び専門研究者たちと持続的な学問的交流と共同研究のための研究会を行った。韓国映像院では当時作品製作に参加した人々の口述記録などの資料を収集した。また、このような映画作家たちの口述作業に参加した研究者らとの研究会を持って2015年に予定している韓国での滞在研究の支援と共同研究の可能性を議論した。

キーワード (研究内容をよく表しているものを5項目で記入)

[北朝鮮] [ハリウwoods] [戦争映画] [後期反共主義] [トランスナショナル・シネマ]

研究発表 (研究によって得られた研究経過・成果を発表した①~④について、該当するものを記入してください。該当するものが多い場合は主要なものを抜粋してください。)

- ①雑誌論文 (著者名、論文標題、雑誌名、巻号、発行年、ページ)
- ②図書 (著者名、出版社、書名、発行年、総ページ数)
- ③シンポジウム・公開講演会等の開催 (会名、開催日、開催場所)
- ④その他 (学会発表、研究報告書の印刷等)

“A Genealogy of Anti-Communist Film in South Korea: Representing and Imagining Cold War”, An Invited Talk at the Kim Koo Forum on Korea Current Affairs, Harvard University, 30 April, 2015

“North Korea in America: The Cultural Consumption of Evil”, International-Asia Cultural Studies Conference 2015, Surabaya, Indonesia, 7-9 August, 2015.

※この(様式2)に記入の、成果の公表を見合わせる必要がある場合は、その理由及び差し控え期間等を記入した調書(A4縦型横書き1枚・自由様式)を添付すること。